

令和2年 第4回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、「令和2年第4回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新たに発足した菅内閣は、「国民のために働く内閣」を掲げ、新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題とし、感染拡大防止と社会、経済活動の両立に注力する考えを示しています。

国難というべきこの危機を乗り越え、国民が安心して生活できるよう総力を挙げて取り組んでいただくことを期待するものであります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、県内での感染ペースが悪化をたどり、月別の感染者が初めて100人を超えるなど、まさに第3波の様相にあります。

先日、本市内の介護施設において、利用者および介護職員の集団感染が確認されました。

先ずは、感染された方々にお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い回復を願うものであります。

これから年末年始にかけ不特定多数の方が集まる機会が増えるなか、市民の皆様には、換気や「3密の回避」、「ソーシャルディスタンスの確保」、「マスクの着用」を継続するとともに、同時流行に備えインフルエンザの予防接種を積極的に受けていただきますようお願い申し上げます。

また、国から、ワクチン接種の供給が可能になった場合を想定し、医療機関との調整や個別通知等の体制を確保するよう通達がありましたので、円滑な実施に向け準備を進めてまいります。

さて、先月31日の「甘利山クリーン大作戦」は、絶好の秋空の下、市民多数のご協力をいただき、5年ぶりに実施することができました。

予想を上回る参加者があったことは、いかに多くの人が甘利山を大切に思っているかを改めて認識したところであり、参加者の方々には深く感謝申し上げますとともに、この取組みにより、来年には、色鮮やかな「レンゲツツジ」が咲き誇ることを願っております。

先般、山梨トヨタグループと締結いたしました、「災害時等における相互協力に関する協定」につきましては、電動車両や冷暖房機器の貸与、各

種物資の提供を受けることで、災害への備えを充実することができました。

また、日医工株式会社との「健康寿命の延伸と医療費の伸びの適正化等に関する包括的連携協定」につきましても、市民の健康づくりに協力していただけることとなりました。

いずれも、県内の自治体では初めてとなる協定の締結であります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、商業の振興についてであります。

地域における消費の喚起等のため、販売いたしました「チーム蕪崎エール商品券」につきましても、大変好評をいただき、完売したところであり、地域経済の活性化と市民生活への支援につながるものと確信しております。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

コロナと戦うすべての人々への「感謝」をテーマに「サンクスフェスタ・蕪崎」を開催しております。

蕪崎駅前広場においてはブルーライトで彩るイルミネーション in にらさきを開催し、来月19日からは、市民交流センターの壁面に、手書きのメッセージや映像を投影する「プロジェクションマッピング」を行い、市民一体となって感謝の気持ちを表すとともに、一刻も早い収束を願うものであります。

次に、子育て環境の整備についてであります。

蕪崎市立保育園再編整備計画に基づき進めております、蕪崎東保育園の民営化につきましても、明年度、公募により移管先を決定し、法人が建設した新園舎で令和6年度からの実施を目指すことといたしました。

次に、農林業の振興についてであります。

本年度におきましても、モモせん孔細菌病による被害が甚大であったことから、昨年度に引き続き、防除対策を実施した農家に対し、費用の一部を補助することといたしました。

また、ブドウにつきましても、べと病や晩腐病<sup>ばんぷびょう</sup>による深刻な被害が発生しており、本市独自で薬剤散布に掛かる費用を助成し、県内でも有数の産地として、来期の生産に向けた対策を進めてまいります。

次に、農林業生産基盤の整備についてであります。

春先より用水不足となっている、新府土地改良区の畑かん施設につきましては、現地調査を踏まえ、優良農地の維持および生産性の確保のため、井戸の増し掘りとポンプの更新などの設備改修を実施してまいります。

次に、交通安全の推進についてであります。

かねてより要望してまいりました、県道葦崎昇仙峡線、上ノ山・穂坂地区工業団地入口交差点の信号機につきましては、先月末に設置され、入居企業の従業員はもとより、地域住民や通行車両の安全性が確保されたところであります。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

市営総合運動場につきましては、昨年10月に策定した基本構想において、現在の敷地を活用しての整備方針としたところでありますが、今般、近接する釜無川洪水時の河岸侵食による家屋倒壊等氾濫想定区域に、敷地の一部が含まれることが判明したことから、体育館の立地について、整備検討委員会のご意見を伺うなかで、専門家の知見も得ながら、現地も含め再検討することといたしました。

次に、地域文化の創造・継承についてであります。

この度、新府城跡において、門を支えていた礎石が良好な状態で発掘され、本丸の整備が行われていたことを裏付ける貴重な遺構として、市内はもとより県内外からの注目度も高まっております。

引き続き、発掘調査を進め、成果を通じて新府城跡の魅力を発信してまいります。

また、縄文時代の日本各地の土器や土偶などに対するファン投票が過日行われ、本市の「ミス石之坪」が見事3位を獲得し、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の出土品が上位を独占いたしました。

今後、観光分野での活用や情報発信などにより、地域の活性化につなげてまいります。

次に、定住対策の促進についてであります。

これまで、コロナ禍においてオンラインを活用した移住相談会への積極的な参加とガイドブックの作成等を行ってまいりましたが、さらに、市民交流センターニコリの空きテナントを改修し、テレワークや起業者、大学

生等のためのコワーキングスペースを整備いたします。

都市から地方に、働く場所を移す新たなワークスタイルが広がりを見せるなか、二地域拠点居住者も視野に定住人口と交流人口の増加を図ってまいります。

次に、公共施設の適正な管理についてであります。

本市の主要施設である、市民交流センター他6施設の指定管理につきましては、期間満了に伴う公募により候補者を選定し、今議会に上程したところであります。

なお、穴山デイサービスセンターなごみの郷につきましては、応募者がなく、また、介護従事者不足や施設の老朽化等により、継続的な運営は困難であるとの判断に至り、やむを得ず本年度末をもって閉鎖することいたしました。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の9月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので、対処いたしましたところあります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

予算案件	3件、
条例案件	7件、
その他案件	7件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、民間給与との格差に基づく給与改定による期末手当の減額補正、新型コロナウイルス感染症の影響による事業費の増減や中止となった事業の減額補正、緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところあります。

先ず、議会費につきましては、職員給与費を17万1千円増額補正しております。

次に、総務費であります。

ふるさと応援寄附金の増収見込みによる、返礼品の購入費用等のため、ふるさと納税事業費に1,593万6千円、先に申し述べました市民交流センターの改修費など、定住対策促進事業費に2,170万5千円を

追加計上する一方、事業費確定により、特別定額給付金給付事業費を3,802万4千円減額するなど、総額727万3千円を減額補正しております。

次に、民生費であります。

更生医療給付費の増により、障害者自立支援医療費助成事業費に565万円、令和元年度の保育所等整備交付金や生活扶助費等国庫負担金などの精算により、あわせて6,053万5千円を国庫支出金等返還金に追加計上するなど、総額7,058万3千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

新型コロナウイルスワクチン供給後の速やかな接種体制を確保するため、新型コロナウイルスワクチン接種事業費に3,353万8千円を追加計上するとともに、市立病院の手術室空調機更新などのため、病院事業会計補助金を1,407万9千円増額するなど、総額4,811万8千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

新府土地改良区畑かん施設の改修経費として、小土地改良事業費に2,488万2千円、モモせん孔細菌病やぶどう細菌病の防除に対する助成経費として、果樹園芸振興事業費に370万2千円、養豚農家の野生動物侵入防止対策への助成経費として、養豚施設防疫強化事業費に119万1千円を追加計上するなど、総額3,278万2千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

起業支援補助金や小規模事業者店舗改修費補助金の申請件数の増加により、中小企業等支援事業費を336万4千円増額する一方、事業費確定見込みにより、燈燈無尽応援券発行補助事業費を1,492万円、雇用調整助成金申請費補助事業費を1,398万円減額しております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました各種事業費として、武田の里まつり補助事業費を1,933万2千円、ヒルクライム葦崎甘利山大会開催事業費を318万2千円減額するなど、総額5,159万5千円を減額補正しております。

次に、土木費であります。

事業費の確定見込みにより、道路施設長寿命化推進事業費を1,703万9千円減額する一方、建設資材の価格上昇等により、堀切橋拡幅整備事業費に2,205万5千円、七里岩崩落対策の県営事業負担金の追加などにより、県営急傾斜地崩落対策事業費に787万5千円を追加計上するなど、総額2,171万3千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

峡北広域行政事務組合の常備消防特別会計負担金の確定により、167万5千円を増額する一方、県の消防団員操法大会などの延期により消防団運営事業費を、114万5千円減額するなど、総額62万5千円を減額補正しております。

次に、教育費であります。

市営総合運動場整備に係る現地測量調査などの確定見込みにより、総合運動場整備事業費を735万円減額し、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました各種事業費として、まちなか美術館事業費を225万円、社会体育振興事業費を306万5千円、サッカーのまちプロジェクト事業費を300万円、武田の里ウォーク開催事業費を607万円減額するなど、総額2,354万6千円を減額補正しております。

次に、災害復旧費であります。

台風14号により被害を受けました農道（穂坂）15号線の復旧経費として、855万円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、9,887万8千円を増額補正となり、現計予算額は、184億5,325万4千円となります。

次に、特別会計、企業会計の補正予算案についてであります。

介護保険特別会計につきましては、介護報酬改定によるシステム改修経費等により、総額508万3千円を増額補正しております。

病院事業会計につきましては、新型コロナウイルス感染症対策に係る県補助金の増により、病院事業収益を8,732万2千円、病院事業費用も修繕費や委託料の増により、2,400万8千円増額補正しております。

また、資本的支出では、眼科の医師体制充実のため、機器購入費や手術室の空調機更新工事費などとして、2,881万5千円を増額補正して

おります。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

結びにあたり、議員各位におかれましては、寒冷のみぎり、ますますご健勝にてご活躍されますことを衷心よりご祈念申し上げまして、私の所信といたします。

令和2年11月30日

葑崎市長 内藤久夫